

## 令和4年第2回 湖南省臨時教育委員会 会議録

1. 開催日時 令和4年8月23日(火) 午後2時から同2時35分まで

2. 開催場所 湖南省役所西庁舎 3階 大会議室

3. 会議に出席した委員

松 浦 加代子

岩 城 見 一

古 川 美智子

平 松 彩

4. 会議に欠席した委員 伊 藤 真 昭

5. 会議に出席した事務局職員 4人

6. 会議を傍聴した人 0名

7. 会議案件

日程第1 議題第29号

令和5年度使用教科用図書の採択について

日程第2 協議事項

(1) その他

事務局

令和4年第2回湖南省臨時教育委員会を開催させていただきます。  
本日の議案につきましては、令和5年度使用教科用図書の採択についての1件でございます。  
それでは、議事に進ませさせていただきます。教育長、よろしくお願いいたします。

教育長

皆様、こんにちは。本日は、令和5年度使用教科用図書の採択について、を議案として臨時教育委員会を開催させていただきました。  
それでは、教科用図書採択につきまして、改めてその過程について説明をさせていただきます。湖南省は甲賀市、草津市、守山市、野洲市、そし

て栗東市の6市からなる教科用図書第二採択地区協議会に属しております。採択につきましては、外部からのあらゆる働きかけが公正な審議に影響することを避けるため、慎重な扱いの元に、協議会において進めてまいりました。今年度は、小・中学校特別支援学級の教科書を選定することとなっております。と言いますのは、学校教育法附則第9条に、「特別支援学級においては、第34条第1項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができる」とされています。この「第34条第1項以外の教科用図書」とは、絵本類などのことで、「一般図書」と呼ばれているものでございます。したがって、特別支援学級の教科書は、通常学級で使用する検定本のほかに、文部科学省著作本や、一般図書の中から選定することができます。しかしながら、選定した一般図書が絶版等で供給不能となる場合もございます。そのため、第二採択地区協議会では、毎年、供給不能が出た教科を中心に調査を行っています。調査委員の皆様には、5月下旬から6月末までの期間に、何度も協議を重ねて調査研究を進めていただきました。その調査結果報告を、去る7月28日に受けております。本日は、第二採択地区協議会幹事である学校教育課長から報告を受け、採択の運びとなっております。

それでは、どうぞよろしく願いいたします。

まず最初に、小学校の知的障がい特別支援学級につきまして、学校教育課長、よろしく願います。

課長

(学校教育課)

それでは、資料の21ページをご覧ください。

21ページ、22ページが令和5年度使用教科用図書調査研究観点でございます。こちらに基づいて、一般図書から補充できる図書の選定を中心に作業を行いました。

それでは、資料の35ページをご覧ください。一冊ずつ簡単に説明をさせていただきます。

まず社会科です。「まちのしくみバックヤード絵ずかん」という本です。児童の身近にある施設や店舗の仕組み、工夫を知ることができる本です。通常は、児童が入ることができないバックヤードを題材にしておりますので、児童の興味や関心を一層高める内容になっています。それぞれの施設の最初のページには、もっと知りたくなるような投げかけやクイズが書かれていますので、興味を持って読み進めることができます。カラーの写真やイラストが多く、イメージを抱きやすいものであること、また探している情報を見つけやすい構成になっています。

続いて理科です。1冊目は、「どんどんめくってはっけん！からだのふしぎ」です。自分で見ることのできない体の中の働きが、わかりやすいイラストと、平易で少ない分量の文章で表されています。食べる、生きる、

感じる、脳、骨と筋肉、成長と直す力という6つのテーマで構成され、クイズや問いかけを受けて考える仕組みになっています。全て平仮名で表記され、平易な言葉で表現されていますので、理解されやすい表記となっています。

また、明るい色調でわかりやすいイラストが描かれています。

他にも、めくるたびに答えがわかるなど、興味をそそられる工夫がされています。

続いて、理科の2冊目です。「小学館の図鑑NEO [新版] 科学の実験DVDつき(あそび・工作・手品)」です。身近な事象を取り上げたおもしろ実験遊びが約200種類掲載されています。児童の興味・関心や学級の実態に応じて選択し、実験による実感を伴った納得や理解を深めることができます。自然現象や日常生活上の経験から身近な実例が取り上げられており、身の回りの素材で準備が整うように計画されています。大判の写真や一瞬を捉えた写真が豊富に掲載されていて、わかりやすく、親しみやすいイラストとともに、興味・関心を高める効果があります。

最後に道徳科です。「3さいのやさしい心をはぐくむ10のお話」です。相手のことを思って自分のできることを実行する主人公の姿から、その優しさが伝わってくる内容になっています。わかりやすいストーリーを味わいながら、自分の経験と照らし合わせながら、考えを深めることができます。1つのお話が5つの場面で構成されており、計10話が掲載されています。それぞれのお話は、児童の理解力や集中力に応じた内容と文章量であり、児童の意欲を高めることができます。どの場面もかわいらしく上質な絵で描かれており、児童の想像が広がりやすく、親しみやすい登場人物にも好感が持てます。見開きの大きな画面で絵本のような仕立てであります。

以上が小学校特別支援学級、知的障がい学級の本です。調査委員会からの報告でした。

教育長

はい、ありがとうございました。これは弱視学級も同じようにということですか。

課長

弱視の子どもの基準は、また別になっております。これは知的の子どもについての選定本になっています。

教育長

はい。協議会のほうで、このように調査委員会から報告を受けました。何かその協議会の時に質問が出ていたことで答えてあることはありますか。

課長

1冊目の本ですが、「イラストに特徴があって、色の付け方といいますか、なにか絵に人物が入ってくる感じを受けたのですが、これはむしろ配慮されているものなのではないでしょうか」というようなご質問がありました。委員長の説明では、「委員の中からもこの色の付け方については意見があったのですが、このことで興味・関心を削ぐとか、学習が成立しにくいという懸念は出ておりませんので、問題なく選定ということになりました」というお話でした。

道徳科の本のことですが、本の名前で「3さいの」というタイトルが入っていることについての質問でした。その表現が気になる保護者がいるのではないかと、という心配の意見が出ました。

これについて調査委員長からは、「知的学級の教育課程においては、該当の発達とは異なる教材を使う、例えば計算ドリルを自分の下の学年のものを使うなど、そういうことは知的障がい学級の中では日常的に行われております。万一、この『3さいの』のところにこだわりやひっかかりがあるようなら、その本そのものを使うのではなく、例えば教材のところだけをコピーしたりとか、あるいは映写したりして使うことができる」というような話でした。「表紙の題の問題よりも、お話と中身の物語のすばらしさの辺りを重点的に選定した」という答えでした。

小学校については、その2点についてのやり取りがございました。

教育長

せっかく4冊ありますので、少し時間を取りたいと思います。それぞれ手に取っていただきまして、お気づきになったことをおっしゃっていただければと思います。

私は道徳の本を手にはしているのですが、まさにこの「3さいの」というところに子どもや保護者が「何か、うちの子、もう10歳になっているのに」といったことでひっかからないか、という質問があったのですが、中身をうまく使ってやっていくということで、この教科書の扱いについては配慮事項といいますか、協議会でもここは質問にしっかり答えさせていただきました。

委員

さっき映写機で映すといった使い方もできるとお話してくださったのですが、一人ひとりに配るものではないのですか。

教育長

もちろん一人ひとりが本を持っていますが、「実物投影機などで、前に大きく映し出すといった使い方をする」というような答え方をしていました。

委員

1年生から6年生までいると思いますが、その中で何年生が主に使うか

はわからない、自由な感じですか。

教育長

例えば7人が知的学級に在籍していましたら、そこはもう学年の枠を外して、7人全員が同じ教材で学びますので、この学年でこの教材を使うということはありません。

委員

はい、ありがとうございます。

教育長

ほかの本でいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、来年度の小学校特別支援学級の教科用図書につきましては、協議会で採択をいたしました、そのことについて湖南省も同意をすることによってよろしいでしょうか。

各委員

－ 全員異議なし －

教育長

それでは、こちらの本を採択ということでご協議をいただきました。

では、続きまして中学校の特別支援学級に移ってまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

課長

資料の40ページから42ページをご覧ください。こちらは中学校の特別支援学級、知的学級の調査研究の観点となります。これを見て選定をいただきました。

資料は53ページからになります。まず最初に、社会科です。「考える力がつく子ども地図帳〈世界〉」を選定いたしました。多くのテーマについて、豊富な写真や絵でまとめられており、情報量も多く、世界地理について多面的に学習できるようになっております。巻末には、世界各国カルタがついており、国ごとの特色や首都、国旗も覚えることができ、発展的に学習できるようになっております。目当てをもたせるための言葉や説明が平易で、全て漢字にルビが振られています。生徒の生活経験や行動範囲を広げていくために、必要な情報を得ることができるものとなっております。

続きまして、理科を説明させていただきます。理科につきましては3冊が供給不能になりました。その補充本として選定した1冊目は「小学パーフェクトコース？(はてな)に答える！ 小学理科改訂版」です。この図書は小学校の教科書の内容を核としながら、生徒自らが知りたい項目をもとに、理科につながる内容を系統立てて構成されております。理科の各分野の内容が掲載され、見出しは大きな字で探しやすく、知りたいことが見つけやすくなっております。

また、解説には関連する用語や内容のページが表示してあり、次々と調べを進めることができ、知識のネットワークが広がるようになっております。小学校3年生以上で学ぶ漢字にはルビが振られており、抵抗なく読めるよう配慮がされております。文字の大きさ、太さ、色などを駆使して書いてある内容がわかりやすく、かつ大切な用語が印象に残り、覚えやすくなるような工夫がされております。興味を引くイラストや図、写真を豊富に使用するなど、読みたくなる工夫がたくさんされています。

2冊目、「母と子の手づくり教室 母と子の園芸教室 野菜をつくろう」です。この図書は身近で手軽な野菜の栽培方法がわかりやすく説明されており、野菜の栽培を通して自然に親しみながら、自然を大切に育てる態度を育てるような内容になっております。

また、野菜の栽培も種、容器と用土、種まき、間引き、土寄せ、収穫に分けて作業のポイントが掲載されていて、全て漢字にはルビが振られ、イラストや写真は見やすくレイアウトされています。植えつけ時期と収穫時期をカレンダーに色づけていることで、栽培時期を意識しながら12か月のいつでも栽培ができるように、育てやすい野菜18種類を掲載しているため、四季を通して学べるようになっております。

理科の3冊目は、小学校で選定されたものと同じです。調査委員の分析が違いますので、こちらで紹介をさせていただきます。

この図書は、簡単でおもしろい科学の実験、遊び、工作、手品などを通して、日常生活に関係の深い自然の仕組みや働きなど、初歩的な事柄について学習することができます。

また、DVDもついていますので、科学の実験に興味を持つことに大変効果的です。漢字にはルビが振られ、ゴシック体を使用しており、実験の手順や難易度、材料が写真や図で示され、実験の原理を紹介した「かがくのツボ」のコーナーが設けられているなど、発達段階に合わせて学習できるようにしております。

続きまして、保健体育でございます。「運動が得意になる43の基礎レッスンイラスト版体育のコツ」を選定いたしました。

この図書は小学校の体育で行われる主な種目を取り上げ、その練習方法をイラスト入りで紹介しています。初歩的な練習から徐々にステップアップして、最後には各種目がマスターできるようになっておりますので、順を追って練習することで、生徒の意欲につながりやすい内容となっております。

それぞれのページでは、できたらチェックのマークを入れることができ、運動ができない時には、イラストを見ながらイメージトレーニングができるようになっています。

また、練習する際の服装や熱中症対策についても触れられております。

全ての説明にイラストがあり、文字の量は少なく、生徒の興味や関心を喚起することができます。

また、ウォーミングアップやクールダウンについても触れられていて、安全に体力の向上を図ることができます。

最後は道徳です。「キミたちはどう学ぶか? こどものための道徳 学び方編」を選定しました。

この図書は学校や日常生活で直面するいじめ、仲間、勉強、やる気、ルールなどについて考え、議論する想定がされていて、読んで楽しく、親や先生、友達と話し合えるような内容となっております。学校でどう学ぶか、どう友達と付き合うかなど、学校生活で起こる身近なことを1時間の授業で一つずつ考えるようになっております。全ての漢字にはルビが振られていて、どの生徒にも読みやすい配慮がされています。疑問に対して2つの考え方を示し、自分の思いの方向性が選択できるようになっており、対話形式で考えを広げられるようになっております。

以上の6冊を供給不能になることの補充として選定いただきました。

教育長

報告ありがとうございました。

同じように質問が出ていたことについて説明をお願いします。

課長

はい。「運動が得意になる 43 の基礎レッスンイラスト版体育のコツ」についてですが、これは中身が全部白黒でして、「子どもたちの興味、関心を引くという部分では、カラーで写真を使うとか、そのほうがいいのではないかと思うのですが、あえてこれを選んだ理由は何ですか」というようなご質問でした。

調査委員からは、「子どもの発達段階に合わせて、初歩的なところから運動が苦手な子も得意な子も自分でチェックをしていって、その中で子どものやる気を喚起できる本、技術のノウハウ本というような形で考えた場合、この本が一番子どもたちの運動への意欲、関心も喚起できるのではないだろうかということで、そういった観点で選びました」というお答えでした。

もう1点あります。別の委員からですが、「小学校と中学校で理科で全く同じものが選定されたが、小6で教科書が変わった親御さんからすると、中1になって結局また同じ本をもらうのはどうなのか」というご質問でした。

これは、要するに「同じ本が2回手元に来るじゃないか」という質問だったかと思いますが、実際、小学部と中学部ということで部会は別々に作業をしていましたので、お互い選定し終わった後に、「ああ、同じ本を選んだのか」というのが後でわかったというのは事実です。中学生の発達

段階に応じて何が一番使いやすいかというところを一番主にして選定されたということです。小学校の学習を課題としてやっていく子どもたちもいますので、発展的に中学校でも使えるものとなっていて、中学校1年生の教科書の内容も実際この本には入っているということです。小学校のものだけではなく、中学校でも継続して使える中身になっているということで、この本を選んだということでした。

実際、小学校、中学校、支援学級の担任はすごく連携を密にしますので、同じ本を2年続けて渡すことはないということは断言できるかなと思います。これは今、私からの補足の説明ですが、そういうことになっております。

以上の2つについてでした。

松浦教育

それでは、先ほどと同じように少し時間をとりますので、お手にとってご覧ください。

委員

今のお話、図鑑のNEOについてですが、「小学校と同じものを使うのはどうか」ということで疑問が出たみたいですが、調査委員としては「同じもの使ってもいいのではないか」ということで、一応これが通ったわけですね。これは僕のこれまでの経験からしてもですが、調査委員は一度本を選んだ手前、やはりそれなりの自信を持って選んでいますので、なかなか撤回しないと思います。ですので、その点で本当に同じでもいいのかなというのは少しありますね。何か少し無理して押し通したような感じもしなくはないです。ですので、これはもしそうであれば、小学校、中学校でもう1度相談した上で、小学校、中学校を通じてこれを使ったほうがいいという考え方で一致できないと、これは親から見ると、「同じのを何で使わないといけないんだ」みたいな気持ちが起こってきそうだなというのを少し思いました。それが少し疑問です。

ですので、これは調査委員の考え方をもう少しきちんとしておく必要があるのではないかと思います。

もう一つは、これを読んだり、ずっと全体を見たりして「これは子どもたちは読まないな」というのが正直なところですね。つまり、字も小さいですし、書いていることがつまらないと思います。

ですので、結局これは先生がこのテキストを利用して教えていくための指針としては利用できるけれども、これを子どもたちに読ませても子どもたちの勉強にならないのではないかとということです。例えば、「運動が得意になる 43 の基礎レッスンイラスト版体育のコツ」、これはテキストとして読んでも子どもたち、何の勉強にもならないと思います。これは先生がこういうふうなものを見ながら、こういう教え方をしたらいいという指



針を持って、子どもたちに実際に実践させるという流れがいいと思います。これは中学校のほうは全部そうだと思います。

「母と子の手づくり教室 母と子の園芸教室 野菜をつくろう」これもこの園芸の本を読ませても、子どもたちは全然興味を持たないと思います。これは実際に園芸させることが大事で、その時の指針としてこのテキストが役に立つと、そういうテキストの利用の仕方も含めて採用するかしないかを定めるべきじゃないかなと僕は思います。

教育長

まさに、委員が今おっしゃったことは、特に知的障がい特別支援学級で、この教科書を見ながら授業を受けているような授業をしていたのでは絶対駄目ですので、やはり指針であったりとか、「ここだけ見ようか」とか、そういった本当にダイナミックな授業をしないと、何のために教育課程を通常学級から分けて、そこに在籍しているのかということですので、特別支援学級の経営にもかかわるお話だと今感じさせていただきました。

課長

ありがとうございます。より子どもの目線に立った選定というのが大事だという、とても大事な話を聞かせていただきました。ぜひ、また次年度以降につなげて考えていきたいと思います。

理科の科学の本が重なった分についても次年度ももう一度、その点については検討してもいいのではないかなというふうにも思いますので、ご意見ありがとうございます。

教育長

それでは、来年度の選択についての意見も述べることとして、中学校の特別支援学級の一般図書の採択ですが、協議会が採択したもので湖南省もよろしいでしょうか。

各委員

－ 全員異議なし －

教育長

では、湖南省もこれで承諾するというので進めていきたいと思いません。

それでは、資料の3ページに戻っていただきたいと思います。ここからは来年度の使用教科用図書選定一覧について確認をしておきたいと思いません。

まず、通常学級、小学校の通常学級は令和元年度に大規模採択を行っております。その結果が4ページに載っております。基本、4年間、同じ教科書を使いますので、令和元年度に調査をし、採択をしたものを来年度も使用するというのであります。

そして、5ページにつきましては、知的障がい特別支援学級ですが、

今、一般図書についての採択でご審議をいただきました。

そして、弱視学級につきましては8ページに書いてあるとおりでございます。各教科については、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書ということで書いてございます。

そして、中学校の通常学級につきましては、これも同じように令和2年度に大規模採択で調査をしております。10ページに選定理由が書いてありますとおり、こちらを4年間使用するということになっております。

ただ、中学校の社会科につきましては、昨年度、新たに調査対象が出てきましたので、昨年度は社会科のみ調査をしております。

11ページ、中学校の知的障がい特別支援学級の一般図書については、先ほど報告をいただきました。

12ページ、そして13ページは中学校の特別支援学級、弱視学級の選定一覧でございます。

つきましては、3ページから13ページに書いてあります教科用図書、こちらを湖南省教育委員会としても採択したいと考えますが、皆様、よろしいでしょうか。

各委員

－ 全員異議なし －

教育長

では、ご承認をいただきました。

本日の臨時教育委員会でご審議いただく内容につきましては、以上でございます。ありがとうございました。

閉会にあたりまして一言ご挨拶させていただきます。

慎重審議、ありがとうございました。令和5年度使用教科用図書の採択に無事、たどりつくことができました。

少し振り返りますと、湖南省は令和元年度小学校大規模採択・2年度中学校大規模採択・昨年度は小中学校特別支援学級と中学校社会の調査、そして今年度と事務局の大役を担いました。教科書は子どもたちが使用する教材の基本となるものです。公平・公正であることを常に意識しつつ、進めてまいりました。

今後は、次の事務局である草津市さんへ、しっかりと引き継ぎたいと考えております。

本日はありがとうございました。

閉会 午後2時35分